

(様式 4-3-2)

8 題材の指導内容と評価の計画

題材「 」 時間 指導項目：内容，項目，事項 \* 例 材料と加工に関する技術 (3)ア，イ

| 「小題材」<br>指導内容 | 時<br>数 | 時<br>間 | 具体の評価規準  |                  |       |   |
|---------------|--------|--------|--|------------------|-------|---|
|               |        |        | 生活や技術への<br>関心・意欲・態度                                    | 生活を工夫し<br>創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技術についての<br>知識・理解   |
| (1)           | 1      | 1      | している。<br>< Aとする状況 ><br>自主的に発言している。<br>< Cの状況の生徒への手立て > |                  |       |   |
| (1)           | 3      | 1      |  |                  |       |   |
|               |        | 2      |  |                  |       | を理解している。<br>< Aとする状況 ><br>具体的に説明できる。<br>< Cの状況の生徒への手立て ><br>するために する。<br>< 評価方法 ><br>観察 |
| (1)           |        |        |  |                  |       |   |

\* 印は，学習の習得をどんな生活に活用したいのか，結びつくのか，「教師の思い」の主な内容を記入する。表現の言葉尻は各地区で統一。

(「 する力に結びつく」，「 できる生徒」など)

\* 時間毎に ~ まで横に番号を付け，学習過程の具体の評価規準と合わせる。

評価規準を記入。

Aとする状況，判定の根拠を，< Aとする状況 > として記入。

Cとなる生徒への手立てを記入。